

ヒメシロシタバ

Catocala nagioides Wileman

チョウ目ヤガ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

選定理由

全国的に分布地が限定される種である。本県においては1例の採集記録があるのみである。

形態

開張50mm前後の大型種である。前翅は灰褐色の樹皮模様であるが、後翅は黒色で白色の鮮やかな紋がある。

国内分布

北海道、本州、九州に分布するが、食樹のカシワが局地的な混合林でしか見られないので、本種の産地も限定される。四国には産しない。

県内分布

2005年8月に、輪島市（旧門前町）で得られているに過ぎず、県内の詳細な生息状況は不明である。県内のカシワ林は能登地方の二次林に局在しているので、他にも生息している可能性はある。

生態

成虫は、年に1回発生し、7月から8月にかけて出現する。カシワの固有種で、幼虫は5月から7月にかけて育つ。卵越冬する。

生息地の条件

幼虫の食樹であるカシワ林の存在が重要である。

生存の危機

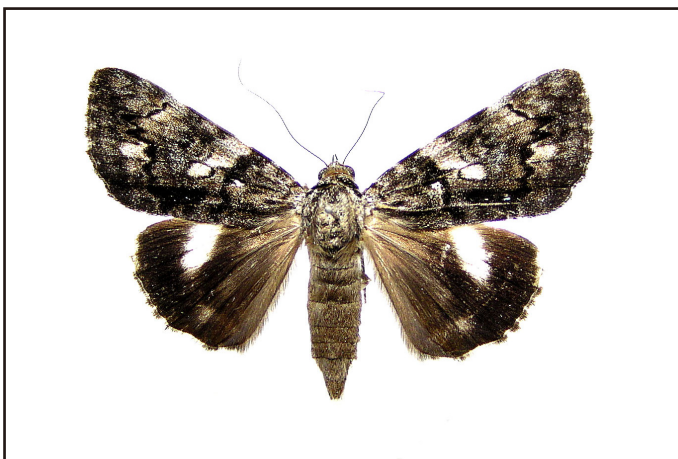
本種の生息可能性のあるカシワ林は、宝達志水町、輪島市、珠洲市の海岸近くに局在しているので、これらの地域ではカシワ林の保護を優先すべきである。

特記事項

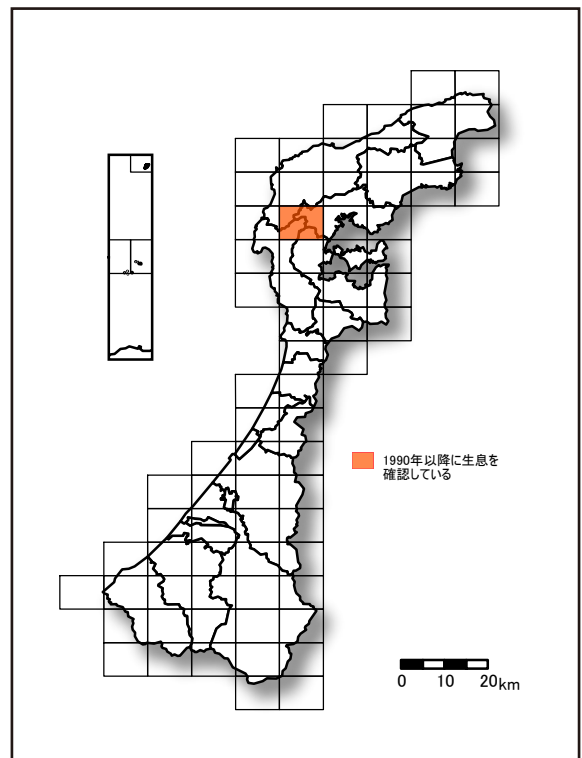
本種の調査は不十分で、今後の課題である。

参考文献

富沢 章 2007. 石川県産蛾類の追加記録. 誘蛾燈, (188) : 55-60.



標本提供者: 富沢章



県内の分布